

各位

上場会社名 リズム時計工業株式会社
代表者 代表取締役社長 樋口 孝二
(コード番号 7769)
問合せ先責任者 取締役常務執行役員 奥田 伸一郎
(TEL 048-643-7213)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年5月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成29年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	16,180	220	410	280	2.91
今回修正予想(B)	15,500	50	120	50	0.52
増減額(B-A)	△680	△170	△290	△230	
増減率(%)	△4.2	△77.3	△70.7	△82.1	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年3月期第2四半期)	16,694	192	319	153	1.46

修正の理由

時計事業におきましては、「リズム」ブランドの拡大に積極的に取り組んだ結果、同ブランドの販売は大幅に増加しており、またインドネシアやマレーシアといったASEAN地域への販売が好調に推移しておりますが、大口記念品や防災行政ラジオの受注減少、中国経済の減速の影響や、中国市場でのビジネス拡大に向けた一時的な販促費の増加などにより、売上・利益ともに前回予想を下回る見込みであります。

電子事業におきましては、合理化に向けて取り組んでいるものの、操業度の低下や継続的な製品リストラなどにより、利益は前回予想を下回る見込みであります。

プレジジョン事業におきましては、国内の受注が好調に推移しており、売上は前回予想を上回る見込みですが、子会社の買収に伴う一時的な費用を計上したこともあり、利益は前回予想を下回る見込みであります。

接続端子事業におきましては、海外販売比率が高く円高に伴う在外子会社の為替換算の影響により、売上は前回予想を下回る見込みであります。利益面におきましては、合理化に加え、インドネシア市場での受注が回復しており、前回予想を上回る見込みであります。

なお、通期の業績については、現時点での変更はありません。

(注)上記の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上